

2022(令和4)年度 事業報告書

令和4年度は、センター定時総会が2年連続で書面開催となり、地域班のブロック別総会や職域班の総会など、年度初めの主要行事が見送られるというコロナ禍での幕開けとなりました。幸い、前年度や前々年度のように、緊急事態宣言等の発出による就業時間の短縮や自宅待機はなくなり、また最低賃金の改定に伴う就業単価の引上げなどにより、前年度に比べて契約金額は増加に転じました。これによりセンターの事業収入は、コロナ禍前の令和元年度に比べて1,209万円の増加となり、前年度と比べると2,634万円増加して5億5,366万円となりました。この事業収入の内訳は、受託事業が2,946万円増加して5億1,084万円、派遣事業では312万円減少して4,282万円となっています。

このように、事業収入はコロナ禍前の金額を上回り、平成30年度のピーク時に次ぐ高収入となりましたが、派遣事業では平成15年度の事業開始から初めての減少となりました。今後、派遣事業の運営を巡っては、派遣元である大阪府シルバー人材センター協議会が府内各センターに事務の一部を移管するため、実質の手数料収入は減少が見込まれます。また、インボイス対策として、事務費の引上げが避けられない財政状況に陥れば、シルバー離れによる収入減少も考えられます。

センターが掲げる事業計画は、事業の目的をより明確にして効率的かつ安定的に進めるための具体的な行動指針となります。そのため、会員と役職員はその内容を理解して、達成に向けて協力し合わなければなりません。そして、計画の実施状況や達成度合いを共に振り返り、浮彫となった諸課題の改善に取り組まなければ、サービスの向上は望めず、ひいてはセンター自体の存続が危うくなります。

ここで、センターの一年間の取組みをしっかりと検証し、実効性ある計画に仕上げてまいります。

実施状況報告

令和4年度の事業実施状況について、以下のとおり報告します。

(1) 数値目標と実績

① 会員数他・粗入会率

	目標数値	実績数値
60歳以上人口	26,400名	26,422名
会員数（特別会員を含む）	984名	988名
新入会者数	150名	114名
粗入会率	3.7%	3.7%

② 契約件数

	目標数値	実績数値
受託事業	600件	460件
派遣事業	130件	93件
計	730件	553件

③ 契約金額

	目標数値	実績数値
受託事業	512,000千円	510,814千円
派遣事業	53,000千円	42,821千円
独自事業	1,000千円	25千円
計	566,000千円	553,660千円

具体的実施事業

(1) 会員の拡大

(ア) 研修推進委員会の取組み

定例の入会説明会において、研修推進委員が自身の職場体験を語り、会員の心得をわかりやすく解説する取組みを実施しました。この取組みは、シルバー人材センターの理念である「共働・共助」の実践が、業務の円滑な推進とトラブルの未然防止、そして自身の健康維持にもつながることを参加者に伝える機会となってきました。また、リーダー研修に講師として参加する取組みも、講師と受講者双方のスキルアップが期待できるため、引き続き実施して効果を検証します。

(イ) クチコミによる会員拡大

会員のクチコミで入会された会員が、就業に結び付くか否かを問わない現行の懸賞制度を見直し、入会のみは2ポイント、就業されるとさらに3ポイントを紹介者に付与する方式に改めました。その結果、会員のクチコミによる入会者は26名で、前年度に比べて2名の減少となりました。そのうち、就業された会員は23名で、前年度に比べて3名の増加となりました。就業会員の拡大にはつながりましたが、対象が少ないため、引き続き実施して効果を検証します。

(ウ) ホームページを活用した会員拡大

シルバー人材センターの新入会員のうち、ホームページを見て入会された会員は7名で、前年度に比べて4名の減少となりました。会員拡大の効果としては低調なため、ホームページの閲覧者が最新の就業情報や入会に必要な書類等を簡単に取得できるよう、さらなる機能の向上が課題となりました。

(エ) 社会参加の促進と生きがいの提供

入会動機の割合については、上位から順に経済的理由が37.7%、生きがい・社会参加が25.4%、健康維持・増進が20.2%、時間的余裕が12.3%、仲間づくりが4.4%となりました。

前年度と比べて、生きがいと社会参加が4.1ポイント減少したのに対して、経済的理由は8.2ポイント増加しました。これは、コロナ禍によって経済活動が低迷したことと、センターのイベントや同好会活動などが中止又は縮小となったことが要因と考えられます。会員が就業やボランティア活動を通して社会とつながり、自身の満足度を高めながら生きがいを獲得して、それを地域社会へ還元する好循環を生み出す支援ができているかどうか、引き続き課題となりました。

(オ) 入会説明会の開催

定例の入会説明会は、コミュニティプラザで計画通り開催できましたが、集会所や公民館などでの出張説明会は、コロナ対策の関係で開催を見送りました。その代替として、ワークプラザで開催した手芸教室と技能講習会の参加者に対して、入会の勧誘を行いました。また、事情により定例説明会に参加できなかった方には個別の説明会を設け、合計5名の入会がありました。新入会者数は114名で、前年度に比べて2名の増加となりましたが、目標数値の150名には及びませんでした。

(2) 就業機会の拡大

(ア) 就業機会の適正な提供

会員への就業機会の提供にあたっては、安全への配慮を基本に、個々の健康と能力に応じた就業紹介を心掛けました。しかし、実習後や就業後すぐに退職される会員も少なくなく、欠員補充を優先した選定が要因と思われるケースもありました。就業機会の適正な提供に向けては、入会の目的や希望する就業先などを丁寧に聞き取り、会員の適性に応じた就業先を選定して、定着につなげられるかどうか、引き続き課題となりました。

(イ) 受託事業の拡大

請負契約先の事業所から、社員が増員となり就業会員を削減したい旨の申出を受けましたが、社員と混在の就業は認められないため、派遣への切替えをお願いするケースがありました。その事業所との請負契約は期間満了で終了となり、受託件数は減少しましたが、是正が必要となる就業を未然に回避することができました。今年度の配分金収入は4億5,584万円で、前年度に比べて2,527万円の増加となりました。また、事務費や材料費を合算した事業収入は5億1,084万円で、前年度に比べて2,946万円の増加となりましたが、目標値の5億1,200万円には及びませんでした。

(ウ) 労働者派遣事業の拡大

民間就労開拓嘱託員が派遣事業の契約先を訪問して、最低賃金の改正に伴う料金改定と契約更新をお願いすることはできたものの、未契約事業所への訪問はできませんでした。今年度の契約件数は93件で、前年度に比べて18件の減少、派遣賃金収入は3,393万円で、前年度に比べて247万円の減少となりました。また、事務費（手数料）を含めた事業収入は4,282万円で、前年度に比べて312万円の減少となり、目標値の5,300万円を下回りました。

(エ) 独自事業の支援

引き続き高年齢者向けパソコン教室を独自事業に掲げましたが、コロナ禍のため講師を務める会員や受講生の確保が難しく、教室の開催はできませんでした。そこで、スマートフォンの普及が急速に進んでいる現状から、独自事業の代替として高年齢者向けスマホ教室の開催を企画し、関係者と協議しました。

(オ) 介護予防・日常生活支援総合事業の拡大

訪問型サービスA-2事業の受注に備えて、有資格の会員を3名確保しましたが、今年度も市との契約締結のみで、就業の発注はありませんでした。訪問型サービスA-2事業の受注が見込めない状況が続くため、契約事務の見直しについて市と協議しました。

(カ) 会員のスキルアップ

大阪府シルバー人材センター協議会と共催で技能講習会を開催する予定でしたが、ポリシャー講習は受講生が集まらず見送りとなり、刈払い機講習は座学での講習となりました。刈払い機講習の受講者5名のうち、摂津市民は1名で、入会登録には至りませんでした。今年度は、センターが刈払い機の機種を変更したこともあり、飛石事故は0件となりましたが、ポリシャー作業では手直しを求められるケースが発生しました。これは、ポリシャーを操作できる会員と技能知識の不足が要因と考えられるため、技能講習を繰り返し実施して会員のスキルアップを図ることが喫緊の課題となりました。また、就業先の公共施設などでは、会員も救急方法を身に付けておくよう求められていますが、関係機関との調整がつかずAEDの講習会は再開できませんでした。

(3) 普及啓発活動の推進

(ア) 普及啓発イベントの開催

大シ協北部ブロックのシルバー人材センターのフェスティバルは、この2年間コロナ禍で中止となっていました。今年度は高槻市の安満遺跡公園で開催することができました。感染予防の観点から一部制限はあったものの、各市町のセンターは作品展示や物販、啓発クイズなど工夫を凝らした催し物を展開しました。当日は、天候にも恵まれて大勢の来場者があり、フェスティバルは成功裏に終わりました。

一方、単独開催のせつつシルバーフェスタとシルバー展は、今年度も開催を見送りましたが、センターの普及啓発活動にもなっているボランティア清掃を3年振りに再開することができました。大正川沿いで実施したこの美化活動には、会

員138名の参加がありました。

(イ) ボランティア活動の支援

会員が就業を通じて地域社会とつながり、生きがいを持って充実した生活を送れるような支援や、自ら進んでボランティア活動に汗を流す会員の支援など、センターの魅力発信と認知度を高める取組みとしては、3年振りの開催となったボランティア清掃の支援にとどまりました。

(ウ) チラシのポスティング等

センターのPRチラシのポスティングは、全戸には及びませんでした。社会参加や就業を希望する高齢者を一定数入会に導き、人手不足の事業所や家庭に対してセンターの取扱業務を紹介することができました。今年度、センターのチラシを見て入会された会員は3名で、前年度に比べて9名の減少となりました。発注していただいたお客様の追跡調査は実施できていないため、お客様への満足度調査を含めて、今後の課題となりました。

(エ) 機関紙、市広報誌、ホームページ等の活用

会員のクチコミやチラシ以外の入会経路については、上位から順に知人のクチコミが29.8%、市広報誌が21.9%、センターホームページが6.1%、再入会が5.3%、パンフ・報道等が3.5%となっています。ホームページによる入会者数は前述のとおり減少しましたが、ホームページは既に登録済みの会員がセンターに足を運ぶことなく、最新の就業情報等にアクセス（接続）できる便利なツール（道具）となるため、閲覧・利用者の拡大が課題となりました。

(4) 安全就業・適正就業の推進

(ア) 安全就業の推進

安全・適正就業部会では、7月の安全就業強化月間に19か所の安全パトロールを実施して、熱中症予防、事故防止、交通安全、マニュアルの整備と遵守などを現地で確認しました。パトロールの結果報告と善後策については、会員に周知できておらず、今後の課題となりました。刈払い機による飛石事故の防止については、前述のとおり事故ゼロとなりましたが、防護用具の装着は徹底できておらず、安全の過信が気がかりとなりました。車両事故の防止については、所有車両がアクセルとブレーキの踏み間違い防止装置と適合する車両でなかったため、設置できませんでしたが、ドライブレコーダーについては全車両に設置することができました。また、車両運転手の就業前後のアルコールチェックも定着してきま

した。不測事態の対策については、緊急時対応カードを全会員に配布したほか、防犯ブザーと警笛付懐中電灯を単独で就業する職場に配置しました。さらに、令和5年度から自転車用ヘルメットの着用を会員に呼びかけ、購入された会員へ助成金を支給するために予算措置を講じました。

(イ) リーダー研修の開催

9月と3月に開催したリーダー研修には、合計185名の参加がありました。この研修では、理事や研修推進委員会の委員が講師となり、職場での事故やトラブルに関する事例の紹介を行いました。また、リーダーに求められていることとして、「リーダーは事務局との相互連携が欠かせない」、「リーダーが安全で働きやすい職場環境を心掛ければ、チームの和や協力関係は良好になり、お客様の満足度の向上にもつながる」、「センターの事業継続と組織の存続は、リーダーの手腕にかかっている」などを取り上げました。研修がリーダーを支援する内容となっているかどうかを引き続き見極め、マンネリ化を防止することが課題となりました。

(ウ) 適正就業の推進

入会説明会の参加者には、会員のしおりと適正就業ガイドライン（全シ協発行の「シルバー人材センターを活用する高齢者の皆さまへ」）を配付して、会員の心得やセンターの仕組み、請負契約と労働者派遣契約の相違点などを解説しました。また、お客様から就業の依頼を受けたときは、適正就業ガイドライン（全シ協発行の「シルバー人材センターに業務を発注する企業、家庭、官公庁などの皆さまへ」）を用いて、センターにご用命いただく際の留意事項を説明しました。今年度は、社員との混在や会員への指揮命令が存在する請負事業所、就業時間が慢性的に超過している派遣事業所など、速やかに是正をお願いしなければならない事業所は見当たりませんでした。

その一方で、お客様が喜んでいただけるからと、会員がマニュアルに無い仕事を安易に引き受けてしまうケースが見られました。お客様から直接依頼を受けた場合は一人で判断せず、リーダーや同僚会員とよく話し合い、センターへの相談も行うよう、リーダー研修で注意喚起を行いました。また、会員の高齢化、技能の継承、就業環境の変化などへの対応としては、長期就業との関連性が高いケースが見られたため、長期就業の解消を対応の柱としました。長期就業者の解消は、シルバーの存続のために行うものであることを丁寧に説明して、会員の理解を得ることが課題となりました。

(5) 組織体制の活性化

(ア) 専門部会の充実

専門部会は、理事会から付託された事項を検討・協議して、事業計画を効率的に実施するために設置された組織で、安全・適正就業部会、研修推進委員会（会員拡大PTを兼務）、事業部会、女性部会の4部会体制での活動となりました。

安全・適正就業部会では、緊急時連絡カードや安全対策用品の配置、リーダー研修の開催、期間更新の審査などを行いました。研修推進委員会では、入会説明会やリーダー研修の講師を担当して、就業マニュアル「よりよい就業を目指して」の解説を行いました。事業部会では、厚生会活動やボランティア活動の再開を検討して、運動会と街の美化活動の開催を実現させました。女性部会では、手芸講習会の開催、北部ブロックフェスティバルへの出展、健康体操同好会の設立などの支援を行いました。

(イ) 職域班の充実

職域班は、会員相互の連携を強化し、円滑に就業を行うために編成された組織で、学校施設管理班、体育施設管理班、除草班、施設管理班、庁舎班、交通専従員班、放置自転車班、コミプラ班の8班体制での活動となりました。

班ごとの総会は、コロナ禍のため約半数が書面開催となり、研修会や親睦行事を見送る班も多かったため、班員や職域間のコミュニケーションは深まらず、職域班の充実は進みませんでした。

(ウ) 地域班の充実

地域班は、地区内外の相互連携と調整を図るために編成された組織で、27地区、8ブロック体制での活動となりました。

地域班のブロック別総会は、コロナ禍のため前年度に引き続き開催することはできませんでした。地区長は、総会議案書や事務局だよりを会員宅へ届けることで地区会員と接触することもできますが、対面できなければ年度替わりの会員登録更新時まで顔を合わせることができません。そのため、地区会員やブロック間のコミュニケーションは深まらず、地域班の充実は進みませんでした。

(エ) インボイス対策

インボイス対策として、近隣のセンターでは発注者に負担を求めるところが大半でしたが、当センターでは令和5年度中はお客様と会員の双方に負担を求めず、令和6年度から段階的に事務費を引き上げることとしました。また、引上げ率については、お客様の理解が得られる負担の上限を探り、センターの財政状況も見極め

ながら慎重に決定することとしました。

(オ) コンプライアンス（法令遵守）とCSR（社会貢献）活動の推進

コンプライアンスの推進のうち、就業先での個人情報保護と漏洩防止については、登録更新時に全会員に誓約してもらいました。交通法規、会員就業規則、ハラスメント防止などについては、事務局だよりで遵守を呼びかけました。

また、CSR活動の推進については、センターが就業を望む高齢者の受け皿となるほか、地域の様々なご用命に対して誠実に取り組み、地域社会の支え手となることにも注力しました。

SDGs（持続可能な開発目標）の推進については、センターが貢献できる活動を具体的に設定して活動することはできませんでしたが、センターの事業計画の中からSDGsに関連する項目を選び、これを達成して地域貢献団体としての認知度を高めて行くことが課題となりました。

会 員 状 況 (令和4年度)

○会員数増減

	正 会 員			特別会員			計
	男	女	計	男	女	計	
前 年 度 末	577	349	926	1	0	1	927
入 会 者 数	66	48	114	0	0	0	114
退 会 者 数	34	19	53	0	0	0	53
差 引 増 減	32	29	61	0	0	0	61
本 年 度 末	609	378	987	1	0	1	988 (名)

○月別入退会者数

	入 会			退 会		
	男	女	計	男	女	計
4月	7	7	14	6	4	10
5月	9	6	15	2	2	4
6月	6	4	10	2	1	3
7月	12	3	15	10	8	18
8月	3	2	5	0	0	0
9月	3	6	9	0	0	0
10月	4	5	9	0	1	1
11月	3	2	5	2	1	3
12月	6	0	6	1	0	1
1月	2	1	3	3	0	3
2月	6	7	13	2	0	2
3月	5	5	10	6	2	8
合 計	66	48	114	34	19	53 (名)

<参考>

退会理由の内訳

病気(本人)	22
センターを通じて就職	0
その他で就職	4
死亡	10
転居	3
就業機会なし	0
家庭の事情(介護等)	8
高齢	3
会費未納	0
その他	3
合 計	53 (名)

○年齢別・性別・就業希望職群別会員数

(令和4年度末現在)

	60歳未満		60～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80歳以上		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
専門技術群	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	5	1
技能群	0	0	0	0	0	0	5	1	4	0	7	1	16	2
事務整理群	0	0	1	4	3	7	11	9	7	9	6	11	28	40
施設管理群	0	0	4	4	25	6	68	20	107	17	124	4	328	51
折衝外交群	0	0	0	0	1	1	0	2	2	9	1	4	4	16
軽作業群	0	0	7	5	26	13	76	72	64	72	40	55	213	217
サービス群	0	0	0	0	1	2	2	14	0	19	6	14	9	49
その他	0	0	1	0	1	1	1	0	3	1	0	0	6	2
合 計	0	0	13	13	57	30	163	118	189	128	187	89	609	378

(注) 1: 職群の取り方は、各会員の第1希望による。

(名)

2: 職群の内容は、「職群班分類及び仕事の事例」による。

○会員の平均年齢・最高年齢

	平均年齢	最高年齢
男 性	76.2歳	90歳
女 性	75.6歳	90歳
全 体	76.0歳	—

○摂津市の人口と入会率

(名・%)

	前年度末	今年度末
摂津市	86,480	86,494
60歳以上	26,430	26,442
摂津市シルバー	927	988
入会率	3.51	3.74

(1) 会員の拡大
入会説明会の開催

開催日	参加者数			入会者数			
	男性	女性	計	男性	女性	計	
【定例】	4月20日(水)	7名	7名	14名	7名	7名	14名
	5月18日(水)	9名	6名	15名	9名	6名	15名
	6月15日(水)	6名	4名	10名	6名	4名	10名
	7月20日(水)	12名	3名	15名	12名	3名	15名
	8月19日(金)	3名	2名	5名	2名	2名	4名
	9月21日(水)	3名	3名	6名	3名	3名	6名
	10月25日(火)	4名	5名	9名	4名	5名	9名
	11月16日(水)	3名	2名	5名	3名	2名	5名
	12月21日(水)	6名	1名	7名	6名	0名	6名
	1月18日(水)	2名	1名	3名	2名	1名	3名
	2月15日(水)	6名	6名	12名	6名	6名	12名
	3月15日(水)	5名	5名	10名	5名	5名	10名
【随時】	8月2日(火)	1名	0名	1名	1名	0名	1名
	9月16日(金)	0名	7名	7名	0名	3名	3名
	2月17日(金)	0名	1名	1名	0名	1名	1名
合 計		67名	53名	120名	66名	48名	114名

(2) 就業機会の拡大
未就業会員相談等

	日 程	内 容 等
未就業会員の 現況把握	4月1日 ～4月30日	・会員登録更新時に現況を確認(対象者69名) 希望職種、その他就業条件を聞き取り調査
発注者訪問	通年	・センターへの満足度を聞き取り、契約内容を確認。新年度 への契約更新を依頼 ・就業実態に合わせて、請負から一般労働者派遣事業への 切り替えを要請

会員のスキルアップ

	日 程	場 所	内 容 等
摂津市交通安全大 会	9月16日	摂津市民文化ホー ル	特別講演講師 西川忠志氏 ※会員向け交通安全講習と位置づけ ※新型コロナウイルスによる感染拡 大を防止するため中止
人権を考える市民 の集い	12月10日	摂津市民文化ホー ル	講演「満足して最期を迎えるためにや っていききたいこと」講師「長尾クリニ ック 院長 長尾 和宏氏」 参加51名 ※会員向け人権研修と位置づけ

	日 程	場 所	内 容 等
刈払機（除草）講習会	7月28日	ワークプラザ	・除草作業における刈払機の安全な操作、事故防止 5名修了
千里丘 三宅柳田 味舌 摂津 別府 味生 鳥飼・鳥飼東 鳥飼西・鳥飼北	—	—	※新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するため中止

(3) 普及啓発活動の推進

普及啓発活動

	日 程	場 所	内 容 等
事務局だより	・第159号 ・第160号 ・第161号 ・第162号 ・第163号	5月17日発行 8月8日発行 10月17日発行 12月23日発行 3月17日発行	・地区長による封入及び発送作業 ・新型コロナウイルスの感染対策 ・事故防止、健康管理の呼びかけ ・緊急時対応カードの活用について ・運動会、街の美化活動の諸行事の案内 ・長期就業解消の取組み等
手芸講習会 (ペットボトルカバー作り)	9月16日	シルバーワークプラザ	・市民向け手芸講座を開催 摂津市広報にて受講者を募集 7名が受講し、内3名が会員登録
街の美化活動	11月19日	摂津市役所、大正川河川敷及びその周辺	・会員有志ボランティアによる清掃奉仕活動 参加138名
せつつシルバーフェスタ	—	—	※新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するため中止
シルバー展	—	—	※新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するため中止
第18回大シ協北部ブロックシルバー人材センターフェスティバル	10月15日	高槻市安満遺跡公園 SAKURA 広場及び東の広場	・ステージイベント等でシルバー人材センターの活動のPR ※実行委員会を3月24日～10月11日の全9回開催
第19回大シ協北部ブロックシルバー人材センターフェスティバル	3月24日	吹田市シルバー人材センター会議室	・令和5年度のイベント開催に向けて ※実行委員会を開催
南千里丘夕涼み会	8月22日	コミュニティプラザ	・コミュニティプラザでのロビーコンサート他を実施 イベントに参画 ※新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するため中止
南千里丘クリスマス・バル	12月17日	コミュニティプラザ他	・阪急摂津市駅前広場植樹帯のライトアップ、コミュニティプラザでのロビーコンサート等を実施 イベントに参画

(4) 安全就業・適正就業の徹底
安全就業・適正就業

	日 程	場 所	内 容 等
就業現場環境点検 (安全パトロール)	7月15日 ～7月30日 全7回 就業先 19地点 部会員 延36名で 実施		<ul style="list-style-type: none"> ・センター役員と事務局による安全点検及び指導 ・実施先 受付員(味生小、鳥飼東小) 河原樋ポンプ場管理 市庁舎清掃、市役所宿直、第1・2駐車場管理 市役所上下水道部 新幹線公園(新幹線公開) 公民館管理(新鳥飼、鳥飼東) 保健センター清掃、味舌体育館清掃 交通専従員(ダイキン正門前) ※一部の就業先には複数回実施
第1回リーダー研修	9月26日 ～29日 全3回 参加94名	市立コミュニティ プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・適正就業と安全就業の推進 ・研修推進委員会よりトラブル防止 ・就業と無関係な私物の持ち込み禁止 ・防犯ブザー他の配置
第2回リーダー研修	3月17日 ～24日 全3回 参加91名	市立コミュニティ プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの選出方法、役割 ・就業先でのトラブル防止と対応 ・自転車用ヘルメット着用の努力義務化への対応 ・就業時のマスク着用の徹底
設立45周年記念 運動会	10月29日	味舌体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の健康増進 ・4チーム対抗戦、6競技で開催 参加100名
大シ協安全就業大 会	7月19日	ホテルアウィーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事故発生状況報告 ・大シ協による安全適正就業指導の実施計画説明
安全就業指導員会 議	2月4日	— (オンライン)	<ul style="list-style-type: none"> ・センター会員の事故発生状況報告 ・講演「伐採作業、草刈作業における注意点」 講師「林業・木材製造業労働災害 防止協会 教育支援課 課長代理 植松 保夫氏」
大シ協安全・適正就 業推進員会議	2月15日	ホテルアウィーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度上半期事故発生状況報告 ・令和5年度安全・適正就業推進基本計画、年次計画 ・講演「安全就業、適正就業の推進」 講師「大阪労働局需給調整事業部 需給調整指導官 山田泰生氏」

	日 程	場 所	内 容 等
安全・適正就業部会 よりお知らせ（事務局 だよりにて）	第 159 号		長期就業の是正、就業年限の周知 新型コロナウイルスワクチン接種の奨励 緊急時対応カードの活用、安全ワッペンの活用
	第 160 号		感染防止対策の徹底 交通安全講習会開催のお知らせ 長期就業解消と後継者育成の取組み
	第 161 号		安全就業と健康管理の推進 新型コロナウイルスワクチン接種の奨励
	第 162 号		継続就業会員の期間満了に伴う審査会の実施（お知らせ）
	第 163 号		自転車用ヘルメットの着用努力義務化（お知らせ） 就業時におけるマスク着用ルール 継続就業会員の期間満了に伴う審査会の開催結果、会員の役 割の再徹底によるトラブル防止の呼びかけ
会員の安全対策用 品の整備等	暑さ対策用空調服の購入に係る補助金 ・屋外作業に従事する会員 7名に交付 防犯対策グッズ（防犯ブザー、警笛付懐中電灯） ・夜間に会員が単独となる就業先 32か所に配置		

事故発生状況

	発生日	会 員	事故及びケガ等の状況
傷害 事故	令和3年 11月7日	女性 79歳	自転車に乗って就業先へ向かうため駐輪場を出たところ でバランスを崩して転倒した。 通院10日
	7月23日	男性 74歳	施設管理業務での巡回中に、階段で躓いて転倒した。 通院62日
賠償 事故	なし		

※ シルバー団体傷害保険及び総合賠償責任保険の対象となる事故で、令和4年4月1日から令和5年3月31日までに保険金の支払いがあったもの及び金額が確定したもの。

※ 会員の年齢は、事故発生当時のもの。

(5) 組織の活性化

定時総会

シルバーワークプラザにて開催

日程	内 容 等
6月3日	会員数 942 名 出 席 646 名 (内、委任状による代理出席 628 名) 議案第 1 号) 2021(令和 3)年度事業報告 議案第 2 号) 2021(令和 3)年度決算報告 ① 決算報告 ② 監査報告 議案第 3 号) 役員を選任 報告第 1 号) 2022(令和 4)年度事業計画書 報告第 2 号) 2022(令和 4)年度収支予算書 6月3日原案可決

理事会

日程	内 容 等
4月25日 (コミュニ ィプラザ 会議室)	理事数 18 名、内出席 17 名、出席監事 2 名 議案第 1 号) 令和 3 年度事業報告 議案第 2 号) 令和 3 年度決算報告 ① 決算報告 ② 監査報告 議案第 3 号) 役員(理事監事候補者)の選任 議案第 4 号) 諮問委員の選任 議案第 5 号) 役員等の費用弁償等に関する規程の一部改正 議案第 6 号) 令和 4 年度 収支予算書の一部修正 報告第 1 号) 会員入退会状況 4月25日原案可決
6月3日 (シルバ ークプラ ザ 会議室)	理事数 18 名、内出席 17 名、出席監事 1 名 議案第 7 号) 代表理事及び業務執行理事の選定 6月3日原案可決
10月20日 (シルバ ークプラ ザ 会議室)	理事数 18 名、内出席 16 名、出席監事 2 名 議案第 8 号) 配分金基準額に関する規程の一部改正 議案第 9 号) 就業規則の一部改正 議案第 10 号) 職員給与規則の一部改正 議案第 11 号) 職員の退職手当に関する規則の一部改正 議案第 12 号) 嘱託員の就業報酬及び費用弁償に関する規則の一部改正 報告第 2 号) 理事長、副理事長及び常務理事の職務の執行状況 報告第 3 号) 会員入退会状況 10月20日原案可決
12月21日 (コミュニ ィプラザ 会議室)	理事数 18 名、内出席 17 名、出席監事 2 名 議案第 13 号) 就業規則の一部改正 議案第 14 号) 職員給与規則の一部改正 議案第 15 号) 令和 4 年度 収支予算書の一部修正 報告第 4 号) 会員の表彰 報告第 5 号) インボイス制度への対応状況 報告第 6 号) 職員の退職及び採用 報告第 7 号) 大阪府法務課による立入検査の実施 報告第 8 号) 会員入退会状況 12月21日原案可決

日程	内 容 等
3月15日 (コミュニティプラザ 会議室)	理事数18名、内出席16名、出席監事2名 議案第16号) 令和5年度 事業計画書(案) 議案第17号) 令和5年度 収支予算書(案) 議案第18号) 資金調達及び設備投資の見込み 議案第19号) 積立金の取崩及びインボイス対応資金積立預金の積立 議案第20号) 収支予算科目の新規設定 議案第21号) 令和4年度 収支予算書の一部変更 報告第9号) 理事長、副理事長及び常務理事の職務の執行状況 報告第10号) 大阪府法務課の立入検査結果 報告第11号) 摂津市財政援助団体等監査の結果 報告第12号) 会員登録更新に関する届出書の一部改正 報告第13号) 会員入退会状況 3月15日原案可決

専門部会等

	日 程	場 所	内 容 等
安全・適正就業部会	6月28日 ～3月24日 全5回	シルバーワークプ ラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー研修の企画検討 ・安全パトロールの実施計画検討 ・就業課題の検討 ・就業期間満了に伴う就業会員の審査、審査結果「更新不可」通知による再審査請求に基づく再審査 ・就業会員の異動状況確認
研修推進委員会・会員拡大PT	通年	コミュニティプラ ザ会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「よりよい就業をめざして」を利用した新入会員への研修(4月～3月、12回) ・9月16日開催の市民向け手芸講習会を女性部会と共同開催
事業部会	5月10日 ～3月2日 全5回	シルバーワークプ ラザ会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会、街の美化活動、せつつシルバーフェスタ、シルバー展の企画検討
女性部会	6月16日 ～2月21日 全6回	シルバーワークプ ラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・女性会員拡大の検討 ・市民向け手芸講習会としてペットボトルカバー作り体験を企画(9月16日に開催) ・健康体操同好会の設立検討(令和5年4月13日活動開始)

全シ協・近シ協・大シ協等開催事業

	日 程	場 所	内 容 等
全シ協定時総会	6月23日	中野サンプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度事業報告及び収支決算報告 ・前年度収支補正予算及び監査報告 ・新年度事業計画及び収支予算 ・役員を選任 ※新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するため表決書を提出
全シ協派遣元責任者講習会	9月27日	ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・職業紹介事業の概要 ・職務遂行上の留意点、職業安定法及び関係法令 ・シルバー人材センターが行う職業紹介の具体例 ・公正な採用選考の推進
近シ協定時総会	6月21日	ホテルグランヴィア和歌山	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度事業報告及び収支決算報告 ・前年度収支補正予算及び監査報告 ・新年度事業計画及び収支予算 ・役員を選任 ※新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するため委任状を提出
大シ協定時総会	6月20日	ホテルアウリーナ大阪	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度事業報告及び決算報告 ・新年度事業計画及び収支予算報告
大シ協事務局長会議	7月12日 ～2月20日 全3回	ホテルアウリーナ大阪	<ul style="list-style-type: none"> ・全国連合事務局長会議の伝達
大シ協 会計実務者担当者会議	2月22日	ホテルアウリーナ大阪	<ul style="list-style-type: none"> ・公益法人会計の適正な運用について
大シ協 派遣実務担当者会議	3月1日	ホテルアウリーナ大阪	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者派遣事業の適正な運用について

大シ協北部ブロック連絡協議会

	日 程	場 所	内 容 等
北部ブロック事務局長会議	4月15日 ～2月21日 全6回	吹田市シルバー人材センター会議室 他 (北摂各市センター持ち回り)	<ul style="list-style-type: none"> ・大シ協理事会の報告 ・幹事会の報告 ・各専門部会の報告 ・定時総会の運営 ・フェスティバルの開催 ・事業実績の推移

職域班他の活動

	日 程	場 所	内 容 等
職域班総会 学校施設管理 体育施設管理 施設管理 庁舎 交通専従員 放置自転車 コミプラ	—	—	※新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するため書面評決
除草班総会	3月24日	シルバーワークプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度事業報告及び決算報告 ・新年度事業計画及び予算案 ・新役員選任
学校施設管理班 定例役員会	4月13日 ～3月1日 全9回	シルバーワークプラザ会議室 コミュニティプラザ会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・総会開催検討 ・各学校における問題点の共有 ・事務局より事務連絡 ・研修は新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するため中止
施設管理班幹事会	4月22日 ～3月24日 全6回	シルバーワークプラザ会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・親睦会開催検討 ・総会開催検討

地域連携等

	日 程	場 所	内 容 等
摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会	11月11日 3月29日	市役所本館 301 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第8期計画の進捗管理報告 ・摂津市高齢者のアンケート結果 ・令和4年度取組みの報告 ・第9期計画の策定に向けた調査結果の報告 ・地域密着型サービス事業者の報告
摂津市人権協会	7月11日	市役所新館 7階講堂	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津市人権協会の活動、各種団体の活動報告 ・総会資料での承認事項確認 ・推進団体としての行動等、意見交換
世界人権宣言摂津連絡会議	9月30日	市役所新館 7階講堂	<ul style="list-style-type: none"> ・平和月間の取組み、長崎平和祈念式典の報告 ・人権週間行事の取組み検討
摂津市社会福祉協議会評議員会	3月23日	地域福祉活動支援センター研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度事業計画、予算の検討
老人福祉大会	9月13日	市民文化ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展示会に手芸同好会が出展 ※新型コロナウイルスによる感染拡大を防止するため中止

上部団体による指導等

	日 程	場 所	内 容 等
公益社団法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査 (大阪府法務課)	1月13日	コミュニティプラザ会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・公益認定の基準の順守状況及び事業の取組み状況 ・法人の組織及び管理・運営の状況 ・定期提出書類及び届出の内容及び状況 ・現金実査を含む、その他法人の業務の運営状況
財政援助団体等の監査 (摂津市監査委員)	2月28日	市役所新館会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数と担当業務、予算執行状況、管理運営上障害となっている事項及び解決策、車両の運行状況等について確認

職員のスキルアップ

	日 程	場 所	内 容 等
人権啓発研修	10月3日	センター事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の人権尊重責任、企業による人権への取組みの必要性他について、ビジネスと人権への対応(法務省人権擁護局作成)より
人権啓発研修	2月8日	センター事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報利用、LGBT、パワハラ、男女雇用機会均等法他について人権腕だめし(大阪企業人権協議会作成)より